

生きている地球の鼓動を実感

6 安全な水とトイレ
を世界中に13 気候変動に
具体的な対策を15 陸の豊かさも
守ろう

プログラムのポイント

①プログラムの狙い

阿蘇地域は、2014年9月ユネスコ世界ジオパークに認定され、カルデラや火山活動ともなう景観などが学習や観光の素材として価値があることが認められました。火山が作る地形や地質に関するものや、周辺に広がる草原やそこに生きる様々な野の花等を観察し、阿蘇火山の成り立ちや火山の恵み、火山と人々の関わりについて学びます。

阿蘇火山博物館の学芸員やスタッフが、火山を入りにSDGsに沿ったテーマで解説します。

②学習内容

- 大地の生命を感じる、阿蘇中岳火口コース
- 360°パノラマ景観、杵島岳コース
- 大地と水、牛と草原 草千里ヶ浜コース
＋阿蘇火山博物館ミュージアムツアー
(①火山と共存するあそもんから学ぶ防災②火山と共存するあそもんから学ぶSDGs)

プログラムの流れ

①テーマの設定

阿蘇の草原がわたしたちにもたらす恵みや、草原と人間の関わり、草原に生息する動植物を学習する。

②事前学習

日本の火山活動や、火山がもたらすもの(災害や恵み)について調べる。

③事後学習

自分が住んでいる地域の、地形や地質、その上に育まれた人々の歴史や文化、動植物の生態系について調べ、以前から変化したことはないか調べる。その原因は何かを考え、それに対する自分なりのアプローチを考える。

④参考資料

阿蘇火山博物館ホームページ
<http://www.asomuse.jp/>



トピックス

TOPICS

■ミュージアムツアー 博物館で阿蘇の概要を学ぶ

阿蘇カルデラ形成から最近の火山活動、阿蘇と他の火山の違いなど、阿蘇での学習に必要な基礎知識を学ぶことができます。

■火山と共存する阿蘇もんから学ぶ防災 博物館で防災・減災について考える

阿蘇はここ数年、水害や噴火、地震などの災害に見舞われてきました。阿蘇の事例をもとに防災・減災について考えてみましょう。

■火山と共存する阿蘇もんから学ぶSDGs 人と草原と生態系の関わりを学ぶ

人の営みによって造られた草原に根付いた阿蘇の環境をベースに持続可能な環境保全とライフサイクルについて学びます。講和後に、草原を散策すると、踏みしめる1歩1歩に価値が変わります。

■火山と共存する阿蘇もんから学ぶ水の探求 熊本・阿蘇の恵「水」。熊本の宝である地下水の大切さ、後世に確実に守り伝えるべく取り組みや水循環の重要性について考えます。

■草千里フィールドワーク 人が創った草原から地球環境の過去と未来を考える

阿蘇の草原には希少な動植物が多数生息しています。子の草原は人の手でつくられ、1000年以上にわたり維持されてきました。この草原環境の今昔から「作る責任」と「使う責任」について考えてみてください。

■中岳火口フィールドワーク 観光防災から自然と共生する工夫について考える

活動が活発な火山「中岳」という危険なスポットを観光の目玉としてきた阿蘇では災害への対策も盛んに行われてきました。我々が如何に各々の土地をより安全且つ過ごしやすいものにしていくか考えるきっかけにしてください。

■杵島岳フィールドワーク 自然と共生できるライフスタイルについて考える

阿蘇は活火山を有するカルデラの中に人が住んでいる世界でも極めてまれな地域です。この地域には様々な災害にめげず、火山と共存してきた知恵と工夫が隠れています。持続可能なまちづくりのヒントが見つかるかも。

実施概要

- 受入期間／通年 9:00～17:00
- 受入人数／全クラス ※要相談
- 実施場所／阿蘇火山博物館、阿蘇中岳周辺、杵島岳周辺、他
- 料 金／フィールドワーク(60分～90分)1,200円～1,900円
※コース、小・中・高によって料金が異なります。
ミュージアムツアー(60分～90分)小700円・中1,100円・高1,200円



【問い合わせ先】

公益財団法人 阿蘇火山博物館 <http://www.asomuse.jp>

TEL 0967-34-2111 / FAX 0967-34-2115 〒869-2232 熊本県阿蘇市赤水1930-1